

令和7年度 事業報告

令和7年度は、引き続き、県指定の地球温暖化防止活動推進センターに関する事業を中心にしながら取組みを進めました。

センターの活動に当たっては、地域での面的な拡がりが必要であるとの観点から引き続き、市町村と連携した取組みに力点を置いて進めながら、センターとしての役割を果たすため、課題や地域ニーズの把握に努め、温暖化対策に関する情報の発信や提供に努めるとともに、地球温暖化防止活動推進人材のスキルアップのための取組みや活動の支援を行いました。

脱炭素化への重要なコンテンツの一つとなる住宅や建築物の取組みとして、意識醸成に資するための断熱リフォームに焦点を当てたセミナーの開催やパンフレットの配布を、自治体、関係団体からの協力を得て、昨年引き続き実施しました。

また、子どもたちへの環境教育や、幅広い世代を対象にした環境学習、セミナーなどを通じて実践活動につなげるための普及啓発に取り組みました。

一方、国の間接補助事業の補助率が低下（7/10→5/10）したことを受け、費用を縮小したうえで事業に取り組みました。

フォーラムの自主事業については、企業や環境活動団体等との連携した取組みを進めたほか、県内最大の環境イベントである「第23回あきたエコフェス」に主体的に参画しました。

併せて、環境をテーマとした映画の自主上映を県内2カ所で開催し、県内陸部での海の環境保全への具体的取組を促しました。

さらに、地球温暖化対策に係る国の補助金や県の委託費が漸減傾向にあることなどから、収益構造を見直すため、フォーラム内にタスクフォースを立ち上げて検討を進め、次年度以降の新たな事業に繋げることとしました。

1 管理運営事業（総会、理事会の開催状況）

年 月 日	開催場所	内 容
第1回 理事会 5月26日(月)	林泉会館	(協議事項) ○自主事業におけるイベント系啓発事業の取り組み方針(案) (決議事項) ○総会に付議する議案 ・令和6年度事業報告及び決算報告 ・令和7年度事業計画(案)及び活動予算(案) ・借入金の最高限度額 (報告事項) ○令和7年度総会の記念講演
通常総会 6月4日(水)	遊学舎	(総会) ○議案の審議 (記念講演) ○豪雨災害を教訓とした防災への備え
第2回 理事会 6月28日(金)	林泉会館	(決議事項)なし (協議事項) ○理事の役割分担 ○令和7年度事業計画 (報告事項) ○協働パートナー団体との協働事業予定 ○環境あきたエコ活動助成事業の実施団体 ○「環境の達人派遣事業」
第3回 理事会 12月16日(火)	林泉会館	(決議事項) ○令和7年度における職員への賞与の支給 (報告事項) ○地球温暖化防止活動推進センターに係る委託・補助事業の進捗状況 ○タスクフォースの検討状況 ○第23回あきたエコフェス ○自主上映「プラスチックの海」 ○企業と連携した環境教育 ○環境あきたエコ活動支援助成金事業 ○秋田県認定リサイクル製品展示・PR事業 ○湯沢市からの受託事業
第4回 理事会 3月24日(火)	林泉会館	(決議事項) ○特定資産（環境活動基金）の取り崩し ○就業規則及び非常勤職員就業規則の一部改正並びに育児・介護休暇等に関する規程の制定 ○給与規程及び賞与支給取扱要綱の一部改正 (報告事項) ○湯沢市と連携した事業 ○秋田県認定リサイクル製品展示・PR事業 ○環境あきたエコ活動支援助成金事業 ○令和8年度の総会

2 自主事業

(1) 県内の環境活動団体等とのネットワークづくり

各地域のエコマイスターや地球温暖化防止推進員等による団体と連携した取り組みを県委託事業で進めたほか、地域の中核的な環境活動団体と適宜情報交換に努めました。

(2) 環境をテーマにした映画の自主上映の取り組み

日本財団「海と日本 PROJECT」推進パートナー団体の活動の一環として、雄物川流域と米代川流域の環境活動団体等と連携し、県北地区（大館市）と県南地区（横手市）で映画「プラスチックの海（字幕版）」の上映会を開催し、海洋汚染の現状についての理解を深めるとともに、内陸部での具体の取り組みを促しました。

(3) 企業の環境活動支援の取り組み

企業の脱炭素化への取り組みを積極的に支援するため、環境アドバイザーの無償派遣事業を実施していますが、令和7年度は派遣要望がありませんでした。

(4) 企業と連携した環境教育の取り組み

会員企業が県内の小学生に配布している小冊子「ゴミと資源（うんこドリル）」について、関心と理解を深めるため、同企業と連携してマスコットキャラクター（うんこ先生）の出前授業を行いました。

※令和7年11月20日 湯沢市立皆瀬小学校（5、6年生）

(5) 環境保全活動に関する講師や専門家の紹介

フォーラムのホームページで「環境の達人」と「環境カウンセラー」に関する情報を提供しました。

(6) 環境マイスター研修会

平成24年度から秋田県自動車販売店協会等と連携して開催している自動車販売員を対象とした「環境マイスター」の認定研修会について、同協会の全国団体の新たな動きを踏まえながら、開催再開に向けての協議を継続しました。

(7) 第23回あきたエコフェスへの参画

10月11日からの2日間、秋田市アゴラ広場を中心に開催された「第23回あきたエコフェス～ゼロカーボンと3Rで変わる未来～」の実行委員として主体的に参画するとともに、ブース展示を通して環境の取組について普及啓発に努めました。

(8) あきた環境学習応援隊としての活動

県内の環境学習機会の充実に資するため、県に「あきた環境学習応援隊」として登録しており、問合せ等に対応しました。

(9) 県SDGsパートナーとしての取り組み

県SDGsパートナーとして、企業のエコアクション21の取得数を増やすなどの目標の達成に向けて取り組みました。

(10) 環境あきた県民フォーラム通信の発行

フォーラムの活動や環境に関する情報を「フォーラム通信」として発信しました。（令和8年1月）

3 委託・補助事業

【事業の分類】

- 地球温暖化防止対策関係
 - …3-1 地域センター強化事業（県委託）
 - …3-2 地域における地球温暖化防止活動促進事業（JCCCA 補助）
 - …3-3 市町村からの受託事業（市委託）
- 環境保全活動関係
 - …3-4 環境あきたエコ活動支援助成金事業（県補助）
- 資源循環関係
 - …3-5 秋田県認定リサイクル製品展示 PR 事業（県委託）

3-1 地域センター強化事業（県委託事業）

県指定の地球温暖化防止活動推進センターとして、県民、民間団体、事業者及び市町村とのコミュニケーションの充実を図り、課題や地域ニーズを集約し、その情報等を広く県民に発信することにより、普及啓発推進拠点としての機能強化に努めました。

(1) 普及啓発推進拠点としての機能強化

① 地域活動を展開する関係団体による交流会議の開催

地域活動における県センターと関係団体等の連携の在り方や活動内容等について意見聴取等を行うため、県及び関係団体等が参画する交流会議を開催しました。

- 参集範囲：県、市町村、学識経験者、事業者、推進員等、その他
- 開催回数：年 3 回程度

② 市町村を対象とした地域ニーズ等のヒアリングと地域活動への支援

市町村を訪問し、地域ニーズをヒアリングし、地域活動への助言や支援を行いました。

- ヒアリング対象：北秋田市、能代市、湯上市、由利本荘市、大仙市、小坂町
- ゼロカーボンシティ宣言をした能代市では、職員向けのセミナーを開催しました。

③ 地域活動を担うスタッフのスキルアップ研修

全国及び地域の地球温暖化防止活動推進センター会議等に参加し、企画・運営等に関する情報収集を行いました。

④ 県センターウェブサイトの運用

ホームページの管理運営（令和 7 年度アクセス件数：21,473 件）

⑤ 県公式 LINE アカウントの運用

県センター Web サイト更新のお知らせを通して、セミナーやイベント情報、地球温暖化対策に関する情報などを配信し、普及啓発を行いました。

※地域センター LINE 登録者数 90 名（令和 7 年度末現在）

⑥ 県センター情報紙「あきたワンだぁエコ」の発行

9月号、3月号 各2,000部発行

印刷物の配布及びウェブサイトで公開しました。

(2) 温暖化対策推進人材の確保・育成

① 環境あきた県民塾運営

「令和7年度環境あきた県民塾」は、地球温暖化による気候変動の影響とその対策等を学ぶことのできる環境学習イベントを開催しました。

①-1 ワンだぁエコツアーin 秋田エコフェス（会場：秋田市）

あきたエコフェス会場で、出展ブースを活用し、「緩和と適応」をテーマに再エネ、資源循環等についてクイズ形式で学ぶ場を提供しました。

協力団体：9団体

参加者：10名

①-2 ワンだぁエコツアーin 由利本荘科学フェス

由利本荘科学フェスティバル会場で、出展ブースを活用し、「緩和」をテーマに再エネ、資源循環等についてクイズ形式で学ぶ場を提供しました。

協力団体：3団体（3団体に加え、フォーラムからも出題）

参加者：17名

② 温暖化対策推進人材スキルアップ研修運営

②-1 座学又はワークショップ型研修

推進員、地域活動への関心の高い県民等を対象とした研修を次のとおり開催しました

- ・開催地：県北（大館市）、県央（秋田市）、県南（横手市）

- ・テーマ：県北～気候変動の影響と熱中症対策について（参加者40名）

 - 県央～熱中症予防と応急処置（参加者20名）

 - 県南～染め物をとおして学ぶ「廃棄物」を「資源」に変える循環型社会（参加者26名）

②-2 断熱リフォームセミナー

住宅建築関係者などを対象に、セミナーを次のとおり開催しました。

また、セミナー開催後限定期間動画を配信しました。

- ・開催地：県北（大館市）、県南（横手市）

- ・テーマ：脱炭素社会を実現する断熱リフォームセミナー

- ・参加者：県北22名、県南28名

- ・その他：横手会場のみ認定リサイクル製品を展示

③ 地域の環境活動支援

市町村、学校及び住民団体等からの要請に基づき、気候変動やクマ問題まで幅広い内容の講座に講師を派遣しました。

※講師派遣回数：35件

④ 地球温暖化防止ネットワーク活動の促進

④-1 推進員等が中心となった地域活動への支援

a 協働パートナー団体との連携による地域活動の創出

環境保全活動を行っている県北・県央・県南各地域の3団体（※）と座談会を行い、事業計画の立て方など状況に応じたアドバイスをしたほか、協働による環境に関する学習会等を開催しました。

※県北：あきたエコ活動県北協議会

県央：由利エコプロ

県南：あきたエコマイスター県南協議会

- ・座談会の開催 ～ 県北 3回、県央 3回、県南 1回
- ・協働事業の開催～ 県北 10回、県央 13回、県南 4回

b 推進員等が所属する小規模グループ等への支援

- ・申請のあった小規模グループへ消耗資材に係る費用を助成しました。（2件）

④-2 子どもを中心とした地域活動への支援

a こどもエコクラブ地域事務局としての支援活動

- ・ホームページにこどもエコクラブの情報を掲載し、エコクラブの活動周知と登録の働きかけを行いました。
- ・エコクラブサポーターミーティングを開催し、活動内容の発表（5団体）など交流を図りました。（参加者：76名）
- ・全国エコ活コンクールへの応募支援として、すべてのクラブ（42団体）へメール等で応募を呼びかけし、応募作品（壁新聞）を全国事務局に送付しました。
- ・こどもエコクラブ全国フェスティバルに参加する団体の手続きを行うとともにや現地スタッフの派遣支援を行いました。
- ・エコクラブ活動報告の取りまとめとして、センター情報誌の別冊として活動報告書を2,000部製作し、配布しました。
- ・オリジナルバンダナを配布しました。（18クラブ）

b 環境教育支援校への環境教育資材の提供

環境教育支援校に指定された10校に対し、環境教育資材を提供しました。

- ・潟上市立大豊小学校
- ・秋田県立新屋高等学校
- ・秋田県立栗田支援学校
- ・天王みどり学園
- ・秋田県立聴覚支援学校
- ・大館市立花岡小学校
- ・大仙市立大曲南中学校
- ・男鹿市立脇本第一小学校
- ・横手市立大雄小学校
- ・大仙市立太田中学校

3-2 地域における地球温暖化防止活動促進事業（環境省間接補助事業）

（1）デコ活家計簿の取組みの拡大

子ども向けについては、エコぬりえの活用による未就学児への環境教育を通して、子どもたちはもとより若い世代である保護者の意識啓発に取組みました。（参加：87園、1,329名）

大人向けについては、デコ活家計簿を活用し、「電気」、「水道」、「ガス」の使用量削減に新たにチャレンジする家庭を全県から募集し、地球温暖化の現状と家庭でのエネルギー削減に意識啓発に取組みました。（参加：16家庭）

（2）講演会の開催

地球温暖化による影響や被害の実態について、ケンタロ・オノ氏（日本キリバス協会代表理事）による講演会を開催しました。具体的事例により、子どもたちや参加者に対して問題提起をしながら、意識啓発に取組みました。

○湯沢市立山田小学校

表題：「～国がなくなる?!～キリバスの共和国と地球温暖化」

参加者：39名（4・5・6年生）及び教員

○能代市役所

表題：「The Future We Want＝私たちが望む未来＝」

参加者：39名

3-3 地球温暖化対策に係る市町村からの受託事業（湯沢市）

湯沢市からの委託を受け、市民・事業者・行政が一体となって地球温暖化対策の取組を加速させるために必要な知識やノウハウ等の習得を目的として脱炭素セミナーを開催しました。

（1）企業向けセミナー開催業務（令和7年11月）

「できることから始めよう！コスト削減で踏み出す脱炭素経営」セミナーを市内中小企業、金融機関、その他脱炭素に興味がある方を対象に開催しました。

第1部：できることから始めよう！コスト削減で踏み出す脱炭素経営

第2部：中小企業が取り組むべき環境経営について

第3部：湯沢翔北高校活動報告

・参加者：53名

（2）行政向けセミナー開催業務（令和8年3月）

「湯沢市のエネルギー需給の現状と木質バイオマス発電の導入」をテーマとしたセミナーを湯沢市議会議員、湯沢市職員を対象に開催しました。

・参加者：68名

3-4 環境あきたエコ活動支援助成金事業（県補助事業）

県からの補助を受け、NPO等の民間団体が行う自主的な環境保全活動に助成する事業を実施しました。

【内容】

- 助成対象 6団体
- 助成金額 1団体当たり169千円～300千円 計1,651千円
- 各団体の事業の主な内容
 - ・ダイバーによる海洋ゴミの清掃と調査活動
 - ・花で紡ぐ新たな魅力、地域彩生事業
 - ・環境保全を維持する地域循環型農業を学ぶ活動
 - ・アースディ男鹿2025の取組み
 - ・増田のりんご・資源循環型草木染事業
 - ・明るい未来を作るための環境エコ活動事業

3-5 秋田県認定リサイクル製品展示PR事業（県委託事業）

秋田県認定リサイクル製品について、広く県民等の関心を高めるとともに認定事業者の販売促進につなげるため、各地の展示場などに出席しました。

（出展会場等）

- ・9月29日（月）…………… 横手市生涯学習館 Ao-na
（断熱リフォームセミナー）
- ・11月7日（金）～12日（水）…………… 秋田市にぎわい交流館AU
- ・12月10日（水）～12日（金）…………… 東京ビッグサイト
（エコプロ2025）
- ・12月16日（火）～12月26日（金）
……………秋田県ゆとり生活創造センター「遊学舎」
- ・1月9日（金）～1月20日（火）…………… 秋田県生涯学習センター